

まとめ

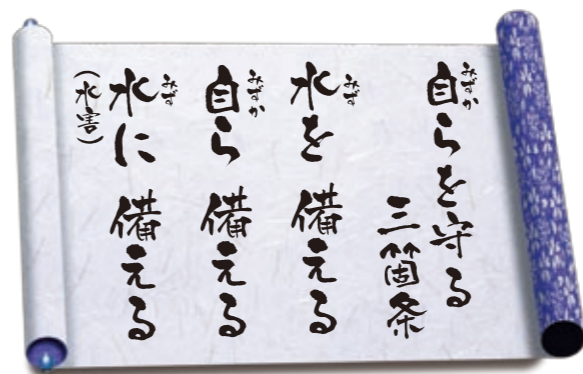
安全・安心の自給のスズメー

自主防災組織の取り組み

市の各自治会の多くは、自主防災の組織づくりをしています。団体によつては、地域で避難訓練や避難場所の確認などを実施しており、地域の安全に努めています。

こうした自主防災活動のメリットはなんでしょか？簡単に言うと「安全安心の自給自足」です。いったん災害が起これば、災害が、市全域に及ぶことは少なくありません。市も全力で対策を行いますが、限界があることは、阪神大震災や四川省の地震を例にするまでもなく、皆さんご存知でしょう。

こうした場合に、ただ市の応援を待つだけでなく、地域で判断し、自主的に避難をする。地域で考



えて自主的に連絡を取り合う。こうしたことを行うだけでも、ずっと被害は少なくなります。そして被害とは、ほかならぬあなた自身の命であり、あなたの大事な人であり、あなたの財産のことです。あなたとあなたの大事な人のために、安全・安心の自給自足、始めてみませんか？

地籍調査が始まります

■地籍調査の一筆地（現地）調査が、次の地区で実施されます。

1. 加津佐町 六反田第7地区…山口、蓮岳付近
2. 南有馬町 吉川第3地区…夏吉、山洞、菖蒲田付近
3. 北有馬町 今福第1地区…横道、山岳付近
4. 西有家町 堂原地区…堂原、赤仁田付近  
下見岳地区…下見岳、上見岳、大払付近

調査の対象者には、後日説明会の通知をします。また、7月下旬からの調査が円滑に進むよう、土地の境界の確認、見通しの悪い境界の伐採を事前に行っておいてください。

●お問い合わせ 企画振興部 地籍調査課 ☎050 (3381) 5036

地籍調査とは？ 土地を一筆ごと所有者、地番、地目、面積などの調査で、本年は7月下旬から実施されます。

ありがとうございます  
ふるさと応援寄附



41万9,000円

現在累計18名 (5月末日現在)

私も応援しています。

「少しでもお役に立てれば」と思っています。

神奈川県 藤原 謐 統さん

協働のカタチ 参加する 市政懇談会

【質問】年度末の納期の税金が2種類ある。4月には税の納付がないので、時期を分けるよう要望したが返事がなかった。対応願いたい。

【回答】まちなちだった各町の納期を合併協議で統一調整した結果、6期納税としたものです。国保税と固定資産税は確かに重なっています。これは、4月については、年度はじめで課税の準備、確認ができなためです。このため国保税と固定資産税の納期が重なりますが、ご了承とご理解をお願いします。

【質問】街路灯と防犯灯の設置の基準の違いは何か。

【回答】防犯灯は、各自治会から申請し、自治会で管理しています。街路灯は商店街に設置しています。ただし、現在のところ区分が明確でないため、今後はつきりしていきたいと思っています。

【質問】幼稚園等民営化について、民営化ありきでスタートしたことについて失望している。経緯を説明して欲しい。

【回答】幼稚園等の民営化については、合併協議会の当初の協議項目にはなかったものの、協議の途中で提案され、努力目標として確認されています。また、合併

後、市の行政改革について諮問した「行政改革推進委員会」からの答申を考慮し、「あり方検討委員会」で検討してもらい、その答申に基づき判断しました。

【質問】原城一揆まつり実行委員会の内山会長さんをはじめ、多くのボランティアの皆さん本当にありがとうございます。昨年に加えてさらに工夫を凝らし、皆さん一所懸命やっていたいただき本当にありがとうございます。今後どうやって原城を売り出していくのか、どのような形でどうやって盛り上げていくか。世界遺産登録に向けて原城を中心にやっていかなければいけません。日本中が注目するようなものが何かないか、一所懸命知恵を絞っているところです。どうぞもうしばらく待っていただけないでしょうか。

【質問】今年、原城一揆まつりに参加して、盛り上がりに欠けたように感じた。ボランティアの人たちのがんばりにもかかわらず、子どもたちの参加も少なかった。今後は、慰霊に加え、知名度を上げるうえでも、もう少し

【質問】世界遺産登録に向けての住民ボランティアの関わり方について説明願いたい。

【回答】現在、住民ボランティアは「原城ガイドの会」「口之津観光ガイドの会」が、それぞれの地域で組織されています。今後、商工観光課の世界遺産を目指す「おもてなし」強化事業により、日野江城跡およびキリシタン墓碑も含め南島原市全域をカバーできるようにガイドの育成に力を入れていく予定です。

【質問】テトラポットの危険防止対策を願いたい。

【回答】子どもたちが護岸の上で遊ばないよう、学校でも指導するよう指示していますが、家庭でも同様の指導をお願いします。（今月号の広報紙（16ページ）に啓発記事を掲載しております。）

【質問】防炎救助活動に必要なものを公民館などに最小限でよいので準備して欲しい。自主防災の推進も願いたい。

【質問】催しのほとんどが市の中央で開催されているようです。加津佐や深江などの周辺の市民は参加しにくい。参加しやすくなる方法等について、市で検討して欲しい。

【回答】全市を対象とした催しものは、条件に適した中央部で開催し、スポーツ大会や文化講演会（年1回）などは各地区を巡回して開催しています。交通手段のない人にはご不便をかけますが、行政区画が広がるほどやむをえない問題となってきました。今後、公共交通対策、特に交通弱者の対策につまみして、総合的に検討します。

【質問】道路・水路等危険箇所の相談はいつ、どここの部署に行けばよいのか。

【回答】支所経済建設課に相談ください。直接本所に相談にいられても結構ですが、一度支所に相談し、部署を確認することをお勧めしています。

【質問】若者が定着できる働き場（所）がないため、市からの人口流失が多い。企業誘致などもっと市の活性化に努めてほしい。

【回答】総合計画策定過程の市民アンケートでも、「働く場の確保」が約半数を占めていました。本市は、島原半島の一番奥に位置しているため、地理的条件が不利な土地柄です。これらを考慮し、他の市町よりも、有利な条件の企業等設置奨励条例を昨年の12月議会ですべて改正しました。これは、地場企業の増床や

【質問】防炎救助活動に必要なものを公民館などに最小限でよいので準備して欲しい。自主防災の推進も願いたい。

【質問】「協働のまちづくり」とあるが、この「協働」という言葉は、行政側から言う言葉か。「協働」と言いながら、民から言ったことに対しては、あまり協力的でない。「協働」は行政からのみ言うのではなく、行政が市民にもっと積極的に協力していくことが必要だと思う。市職員も「市民」なのだから、その町のイベントには、少ない支所の人たちだけでなく、本所勤務の人と一緒に汗を流すことが「協働」だと思いがどうか。

【回答】おっしゃるとおりだと思います。これから先はもっと連携し

【質問】おっしゃるとおりだと思います。これから先はもっと連携し